

## 大会開催の危機管理について

- (1) 自然災害対策については、避難経路、避難場所の確認、誘導(動線)の方法を明確にして、選手、チーム役員、役員、観客の安全を確保する。また、**基本的に政府及び自治体からのニュースを収集して適切に対応する。**
- (2) 感染症・伝染病対策については、罹患者の隔離や消毒など、選手、チーム役員、役員、観客の安全を確保する。また、医療機関や保健所から情報を収集して適切に対応する。  
(※新型コロナウイルス感染症防止についてはJVAガイドライン参照)
- (3) 急病人・怪我人の手当てについては、会場の応急対応できるスペースを確保する。また、事前に会場の救急体制及び救急病院をチェックし、すぐに救急車を要請できるようにしておく。
- (4) 事故対策については、会場関係者と連絡を取り、適切に対応する。

## ビーチバレーボール競技における危機・安全管理について

- (1) 一般社団法人日本ビーチバレーボール連盟「ビーチバレーボール大会開催時における留意点」に基づき開催する。
- (2) 危機管理担当者(大会役員)を決め、事業開始までに、避難動線、対応策等を必ずチーム、役員、観客等に周知すること。特に観客には会場アナウンス等で危機管理の対応を知らせることができるよう配慮する。  
(※自主警備計画書作成)
- (3) 自然災害の対応
  - 1) 台風や落雷への対応について
    - ① 競技開始の有無、中断や再開の判断は、気象情報を的確に入手するとともに、地元自治体、施設管理団体などの意見を参考にしながら、適切に対応する。
    - ② 特に落雷については、落雷警報発令時はもとより、落雷注意報発令についても、気象庁等の信頼できる情報を的確に入手し、選手や役員等の安全を第一に捉え、落雷の危険があると判断した場合には、速やかに既設の屋根のある建物内や車両内に避難させる。
  - 2) 熱中症対策について
    - ① 選手、チーム役員、役員、観客に対して、水分補給を促すとともに、日陰で風通しの良い場所をあらかじめ確保する。特に選手に対しては、十分な水分を確保するとともに、熱中症症状の疑いがみられる場合には、競技規則を踏まえつつ、試合の続行について選手及びチーム役員に確認するなど、適切に対応する。
  - 3) 急病人・けが人への対応について
    - ① 会場内に応急対応ができる場所(日陰)を確保するとともに、事前にAED設置場所や救急病院の連絡先等を確認する。
    - ② 病状により速やかに救急車を要請し、医療機関の対応に委ねるとともに、必要に応じて警察署や消防署とも連携する。
- (4) その他
  - 1) 上記項目以外への対応
    - ① **事業の中断、中止、再開、延期等については、安全を最優先し、速やかに判断・伝達する。**  
(※競技の中断・中止のガイドライン参照)

## ※ 競技の中断・中止についてのガイドライン

### ◆ 新型コロナウイルス感染症についてのガイドライン

- (1) 地域の感染状況を踏まえ、開催地(使用施設等)の方針に従い、実施の判断をいたします。
- (2) **開催地に「緊急事態宣言」が発出されている場合は、大会を中止、延期する。**
- (3) 実施する場合は、適切な感染防止対策を講じた上で実施します。

### ◆ 風についてのガイドライン

風力 階級	名称	開けた平らな地面から10mの高さにおける相当風速				説明		開催 可否
		ノット(kt)	メートル毎秒	km/h	mile/h	陸上	海上	
0	静穏	1未満	0.3未満	1未満	1未満	静穏。煙はまっすぐに昇る。	鏡のような海面。	○
1	至軽風	1～4未満	0.3～1.6未満	1以上6未満	1以上4未満	風向きは、煙がなびくのでわかるが風見には感じない。	うろこのようなさざ波ができるが、波がしらに泡はない。	○
2	軽風	4～7未満	1.6～3.4未満	6以上12未満	4以上8未満	顔に風を感じる。木の葉が動く。風見も動き出す。	小波の小さいもので、まだ短いはっきりしてくる。波がしらは滑らかに見え、砕けていない。	○
3	軟風	7～11未満	3.4～5.5未満	12以上20未満	8以上13未満	木の葉や細かい小枝が絶えず動く。軽い旗が開く。	小波の大きいもの。波がしらが砕けはじめる。泡はガラスのように見える。所々白波が現れることがある。	○
4	和風	11～17未満	5.5～8.0未満	20以上29未満	13以上19未満	砂ぼこりが立ち、紙片が舞い上がる。小枝が動く。	波の小さいもので、長くなる。白波がかなり多くなる。	○
5	疾風	17～22未満	8.0～10.8未満	29以上39未満	19以上25未満	葉のある灌木が揺れ始める。池や沼の水面に波がしらが立つ。	波の中ぐらいのもので、いっそうはっきりして長くなる。白波がたくさん現れる。(しぶきを生ずることまる。)	○
6	雄風	22～28未満	10.8～13.9未満	39以上50未満	25以上32未満	大枝が動く。電線が鳴る。傘はさしにくい。	波の大きいものが出来始める。至る所で白く泡立った波がしらの範囲が一層広がる。(しぶきを生じることが多い。)	△
7	強風	28～34未満	13.9～17.2未満	50以上62未満	32以上39未満	樹木全体が揺れる。風に向かっては歩きにくい。	波はますます大きくなり、波がしらが砕けてできた白い泡は、すじをひいて風下に吹き流される。	△
8	疾強風	34～41未満	17.2～20.8未満	62以上75未満	39以上47未満	小枝が折れる。風に向かっては歩けない。	大波のやや小さいもので、長さが長くなる。波がしらの端は砕けて水けおりとなりはじめる。泡は明瞭なすじをひいて風下に吹き流される。	×
9	大強風	41～48未満	20.8～24.5未満	75以上89未満	47以上55未満	人家にわずかの損害がおこる。(煙突が倒れ、屋根材がはがれる。)	大波。泡は濃いすじをひいて風下に吹き流される。波がしらはのめり、崩れ落ち、逆巻きはじめる。しぶきのため視程がそこなわれることもある。	×
10	暴風	48～56未満	24.5～28.5未満	89以上103未満	55以上64未満	陸地の内部では珍しい。樹木は根こそぎになる。人家に大損害がおこる。	波がしらはが長くのしかかるような非常に高い大波。大きなかたまりとなった泡は濃い白色のすじをひいて風下に吹き流される。海面は全体として白く見える。波の崩れ方は、激しく衝撃的になる。視程はそこなわれる。	×
11	烈風	56～64未満	28.5～32.7未満	103以上118未満	64以上73未満	減多に起こらない。広い範囲の破壊を伴う。	山のように高い大波。(中小船舶は一時波の陰に見えなくなることもある。)	×
12	颱風	64以上	32.7以上	118以上	73以上	-----	大気は泡としぶきが充満する。海面は吹きとしぶきのために完全に白くなる。視程は著しく損なわれる。	×

### ◆ 雷についてのガイドライン

- (1) 全ての関係者は、屋外での活動中(試合以外も含む)に落雷の予兆があった場合は速やかに活動を中止し、危険性がなくなるまで安全な場所に避難するなど、選手の安全を最優先事項として常に留意する。特に小・中学生の活動に際しては、自らの判断により活動を中止することが難しい年代であることを配慮する。
- (2) 下記事項について事前によく調べ、また決定しておく。
  - ① 当日の天気予報(特に大雨や雷雲など)
  - ② 避難場所の確認
  - ③ 活動中止の決定権限を持つ者の特定、中止決定の際の連絡フローの決定
- (3) 大会当日のプログラムは余裕を持ったスケジュールを組み、少しでも危険性のある場合は躊躇なく活動を中止する。また、避雷針の有無や避難場所からの距離、活動場所の形状によって活動中止の判断時期は異なるが、周囲に何も無い状況下においては少しでも落雷の予兆があった場合は速やかに活動中止の判断を行う。